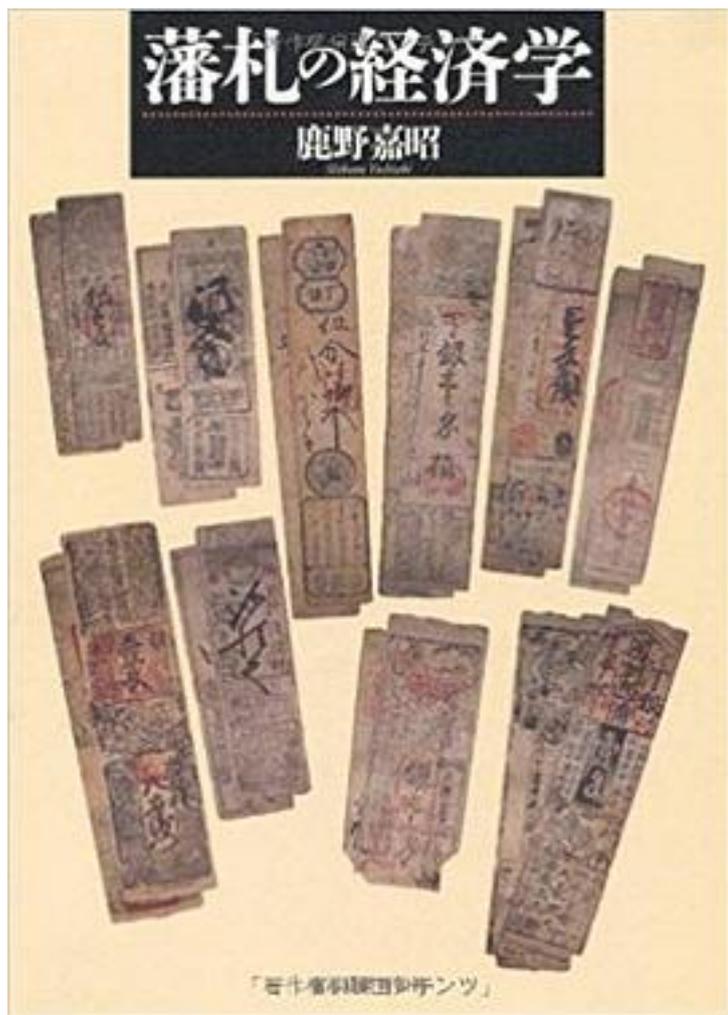


藩札の経済学



[藩札の経済学 下载链接1](#)

著者:鹿野嘉昭

出版者:

出版时间:2011

装帧:平装

isbn:9784492371084

藩札の真実に迫る!

江戸時代を通じて、金属貨幣である金貨、銀貨、銅貨とは別に、西日本を中心に諸藩では「藩札」と呼ばれる紙幣が流通していました。流通した藩札は、江戸時代の経済システムにおいてどのような地位を占めていたのか。濫発されて価値が大きく下落したという通説は本当か。

本書は藩札に関する初の全国的かつ本格的な研究書です。貨幣史においてきわめて重要な位置づけにありながら、その種類・発行時期の多様さからどうしても地域研究にとどまりがちだった藩札について、全国・江戸全期にわたって網羅・研究しています。これまでの藩札に関するさまざまな学説上の見解の相違や、藩札にまつわる一般的な誤解に対し、丹念に証拠を集めることで、その実態を解き明かしていきます。本書は、藩札の経済史的意義、流通実態などに即し、江戸期幣制における藩札の一般理論を描くことを企図するものです。マクロ経済的視点から藩札を捉えなおすことによって、藩札=信用貨幣論争、銭匁勘定と銭遣い、藩札の濫発など、従来の個別事例的な研究から生まれた様々な論争に新たな見解を提示しています。藩札の真実に迫る！

江戸時代を通じて、金属貨幣である金貨、銀貨、銅貨とは別に、西日本を中心に諸藩では「藩札」と呼ばれる紙幣が流通していました。流通した藩札は、江戸時代の経済システムにおいてどのような地位を占めていたのか。濫発されて価値が大きく下落したという通説は本当か。

本書は藩札に関する初の全国的かつ本格的な研究書です。貨幣史においてきわめて重要な位置づけにありながら、その種類・発行時期の多様さからどうしても地域研究にとどまりがちだった藩札について、全国・江戸全期にわたって網羅・研究しています。これまでの藩札に関するさまざまな学説上の見解の相違や、藩札にまつわる一般的な誤解に対し、丹念に証拠を集めることで、その実態を解き明かしていきます。本書は、藩札の経済史的意義、流通実態などに即し、江戸期幣制における藩札の一般理論を描くことを企図するものです。マクロ経済的視点から藩札を捉えなおすことによって、藩札=信用貨幣論争、銭匁勘定と銭遣い、藩札の濫発など、従来の個別事例的な研究から生まれた様々な論争に新たな見解を提示しています。

作者介绍:

鹿野/嘉昭

1954年京都府に生まれる。1977年同志社大学経済学部卒業、日本銀行入行。筑波大学助教授(社会工学系)、日本銀行金融研究所調査役、経団連21世紀政策研究所研究主幹(日本銀行より出向)等を経て、同志社大学経済学部教授。大阪大学博士(経済学)。著書に『日本の銀行と金融組織』東洋経済新報社、1994年9月(第35回エコノミスト賞)など(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[藩札の経済学 下载链接1](#)

标签

近世

日本史

评论

[藩札の経済学_下载链接1](#)

书评

[藩札の経済学_下载链接1](#)